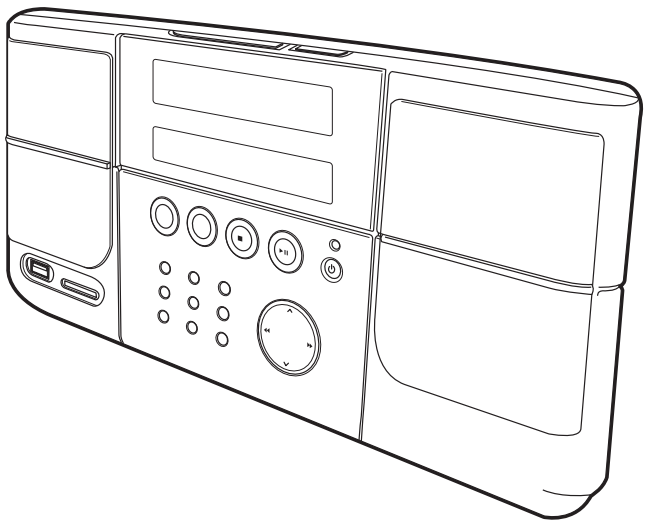
SOUNDLOOK

家庭用

ステレオCDシステム

SDD-4332

取扱説明書（保証書別途添付）



このたびはサウンドルックステレオＣＤシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目　　次

- 安全上のご注意・・・・・・1～3
- お使いになる前に・・・・・・・4
- 各部のなまえ・・・・・・・5～6
- 時計の合わせかた・・・・・・・7
- カレンダーの合わせかた・・・・7
- ラジオを聴くには・・・・・・・8
- CDを聴くには・・・・・・9～10
- MP3ファイルを再生するには・11～16
- アラームの使いかた・・・17～18
- スリープ機能・・・・・・・・19
- 他の機器とのつなぎかた・・・19
- ディスプレイバックライトについて・19
- お手入れのしかた・・・・・・20
- 仕　　様・・・・・・・・20
- 故障かな?と思われたときは・・21
- アフターサービスについて・・・22

小泉成器株式会社

安全上のご注意

＊ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ **注意**	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

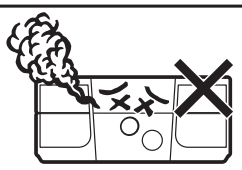
● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

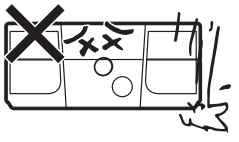
煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体のスイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



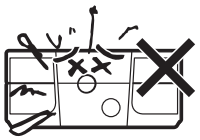
機器内部に異物や水などが入った場合は、本体のスイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず販売店にご相談ください。



機器内部に金属類や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因になります。

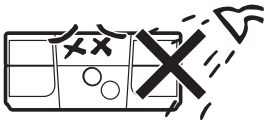


電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場では使用しない

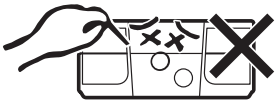
火災・感電の原因となります。



⚠警告

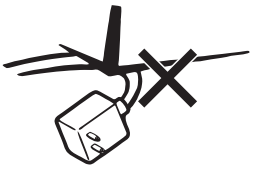
表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しない
火災･感電の原因となります。

本体の通風孔、ＣＤの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
コードが破損して火災･感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする
コードに傷がついて、火災･感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

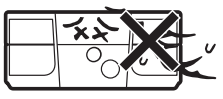


雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない
落雷や誘電雷により感電･やけど･機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。

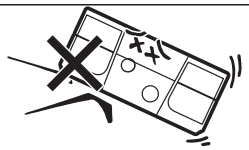
改造はしない
修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
事故やケガの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「サービスセンター」にご相談ください。

⚠注意

油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

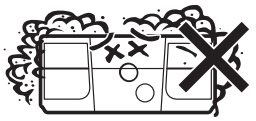


異常に温度が高くなるところに置かない
機器の変形･変質･火災･故障の原因となることがあります。
直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。

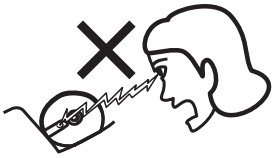
⚠注意

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。



レーザー光線をのぞき込まない（ＣＤ部）
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
乾電池の破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する　接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス･マイナスは正しく入れる
乾電池の発熱･破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

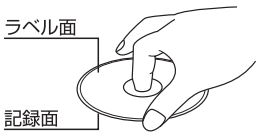
お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれで回路がショートし、火災･ケガ･汚損の原因となることがあります。

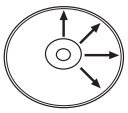
幼児がＣＤ挿入口に、手を入れないように注意する
ケガの原因となることがあります。

お使いになる前に

CDについて



※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。

※再生面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。
またラベルがはがれたCDは使用しないでください。

※ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

※ハート型など特殊形状のCDは使用しないでください。
機器の故障の原因となります。

※CD-R/RWに記録されたCDは、再生できない場合があります。
※コピーガード付きのCDは、再生できない場合があります。

使用・保管場所について

次のような場所では使用･保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
- ちりやほこりなどの多い場所
- 風呂場など湿気が多い場所
- テレビやチューナーなどのそばでCDプレーヤーを演奏すると、雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- CDプレーヤーのレンズにほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。また、レンズにさわらないようにしてください。

結露について

- CDプレーヤーのレンズが結露したり、水滴がついたままになっていると正しく演奏できない場合があります。
- 暖房直後の部屋、湯気や湿気の多いところ、寒い場所から急にあたたかいところに移動したときなどは、電源を入れ1～2時間たってから使うようにしてください。

お願い

- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近付けないでください。
- 本体の分解改造は絶対にしないでください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使うようにしてください。

乾電池で使うには

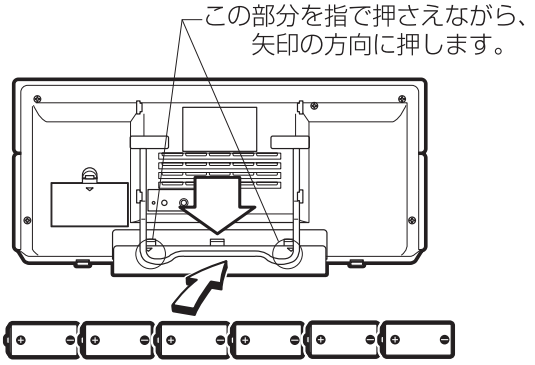
単３形乾電池６本(別売)を極性(＋、－)を間違えないように入れてください。

- 乾電池の取替え時期は
  ＣＤやテープを正常に演奏しなくなったり、
  雑音が多くなったときは乾電池の取替え時期です。
  新しい乾電池と取り替えてください。

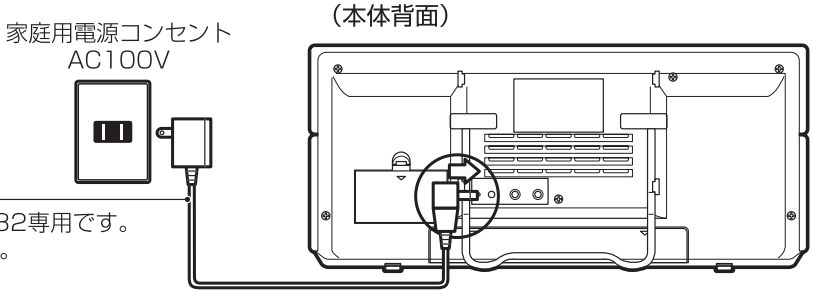
ご注意

乾電池の破損･液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときや、いつも家庭用コンセントで使用するときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

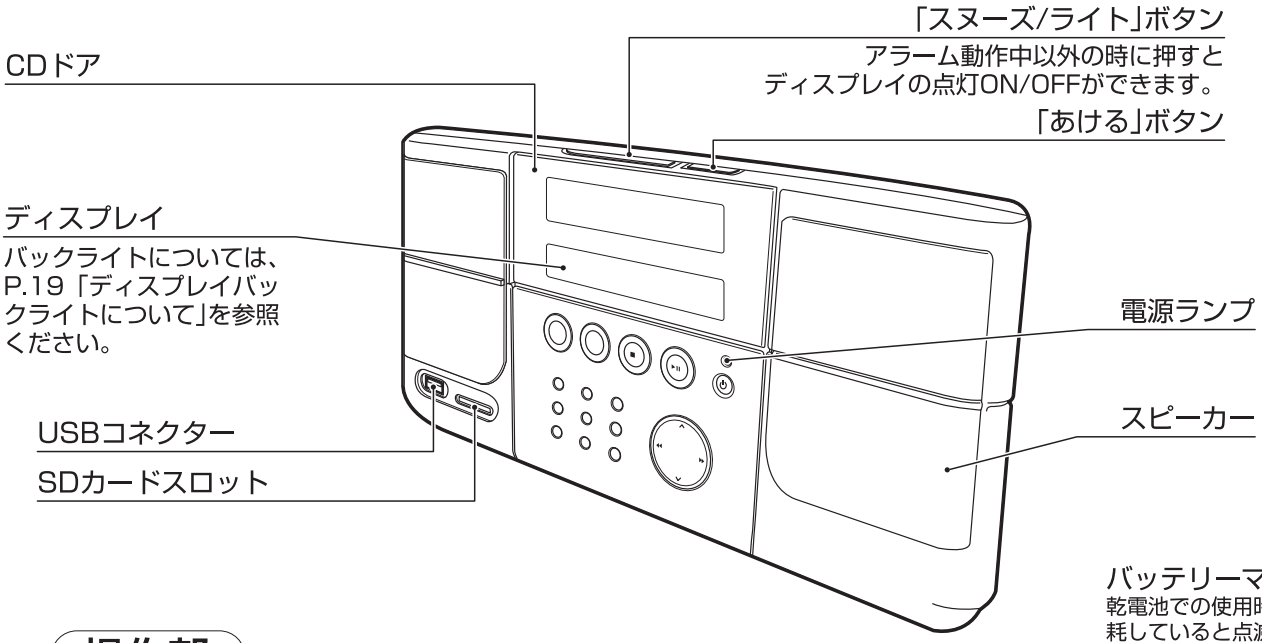


家庭用電源で使うには



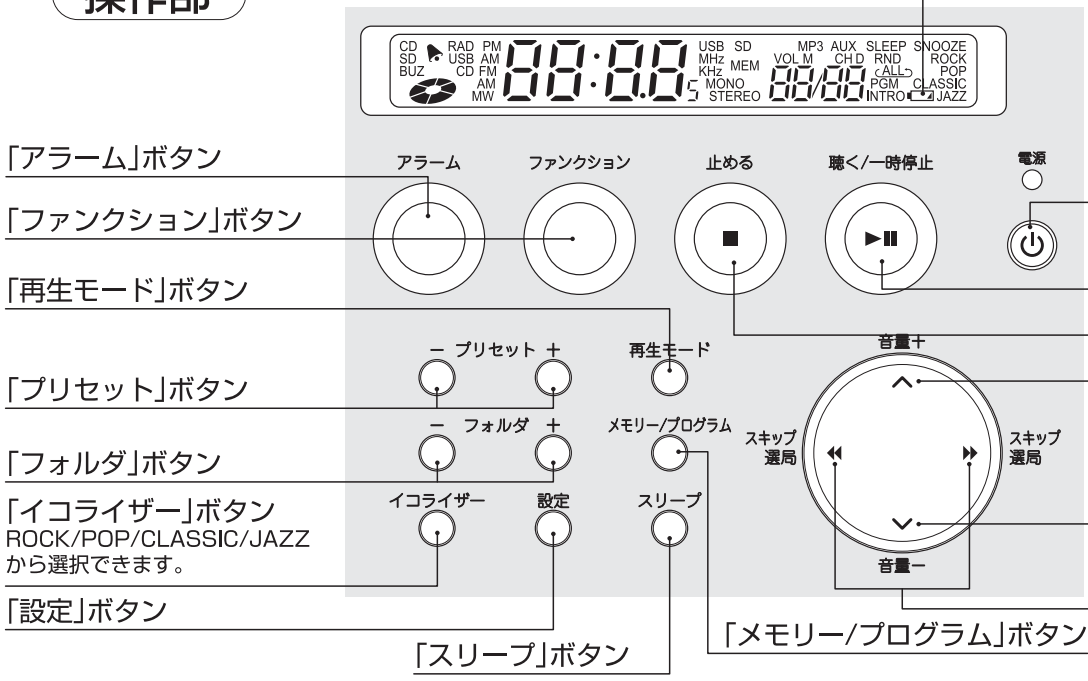
万一故障した場合はお買上の販売店にご相談ください。

各部のなまえ



バッテリーマーク
乾電池での使用時に乾電池が消耗していると点滅表示されます。

操作部



「電源」ボタン
電源切の状態ではディスプレイに時計・カレンダーが表示されます。

「アラーム」ボタン

「ファンクション」ボタン

「再生モード」ボタン

「プリセット」ボタン

「フォルダ」ボタン

「イコライザー」ボタン
ROCK/POP/CLASSIC/JAZZ
から選択できます。

「設定」ボタン

「スリープ」ボタン

「聴く/一時停止」ボタン

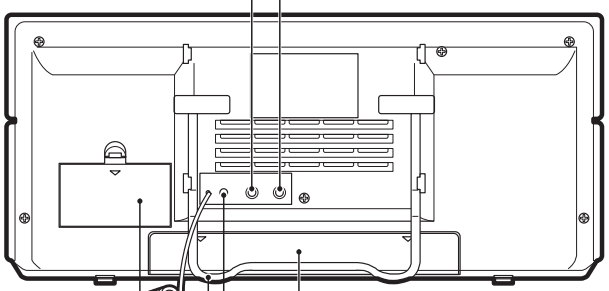
「止める」ボタン

「音量」ボタン
0〜30まで調節できます。

「スキップ/選局」ボタン

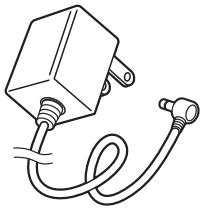
「メモリー/プログラム」ボタン

背　面



付属部品

ACアダプター×1



※ACアダプター使用時にアダプターの表面が暖かくなる事がありますが異常ではありません。

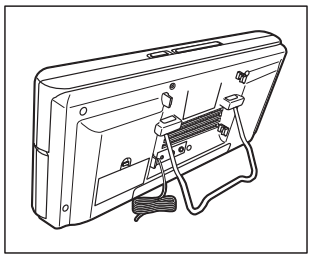
取扱説明書×1

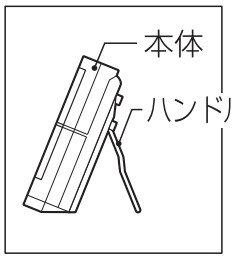
保証書×1

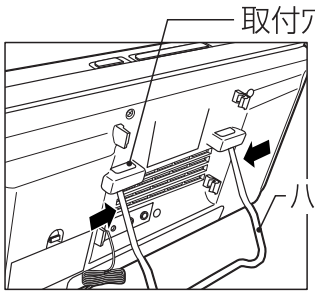
ハンドルの使いかた

この製品はハンドルを起こし、卓上用として使用します。

卓上用

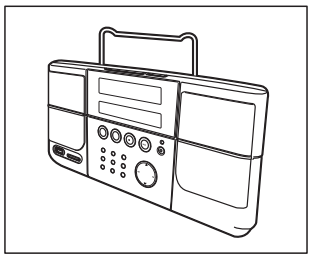


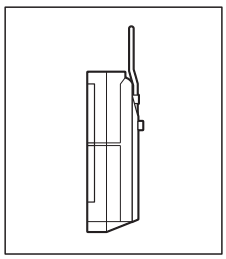


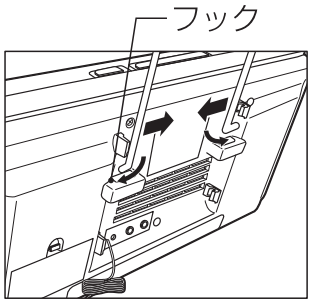


矢印の方向にハンドルを押し、下に引くと取付穴から取りはずせます。
再度取付ける時はハンドルの方向に注意してください。

持ち運び用







フックにハンドルがかかるように、ハンドルを内側へ押さえながら取付穴に差し込みます。(ハンドルの方向に注意してください。)正しくセットしないと落下や転倒の原因となります。

バックアップ電池について

停電時や乾電池切れの時に、「設定」ボタンで設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。

ご注意

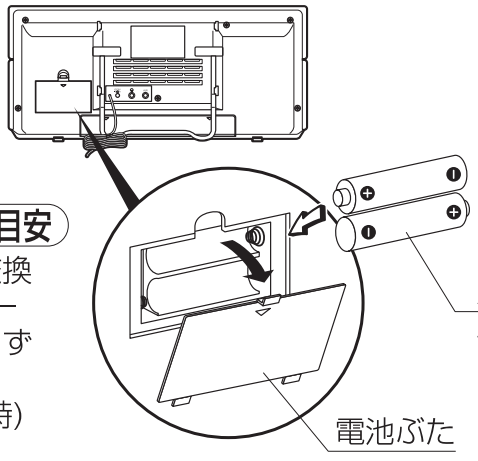
本機はバックアップ電池がなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと、時計機能等を維持しません。

ご使用前に

- 電池ぶたのフックを押しながら矢印の方向に引き上げて電池ぶたを外します。

バックアップ電池の交換目安

- バックアップ電池の交換目安は、ACアダプター使用の有無にかかわらず約1年半です。
(アルカリ乾電池使用時)



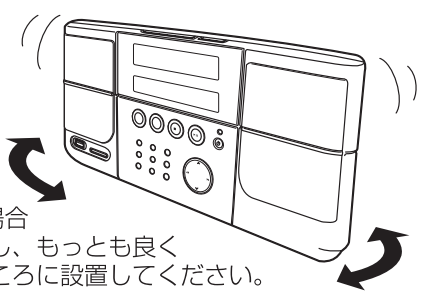
設定ボタンのはたらき

「設定」ボタンの押す回数で各機能の設定モードに切り替えます。

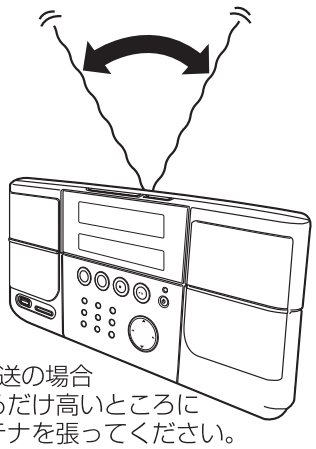
押す回数	設定モード
1	アラーム時刻
2	アラーム音源
3	現在時刻
4	24時間/12時間表示切替
5	西暦
6	月日
7	ラジオ受信エリア

設置場所について

- ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。



AM放送の場合
本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。



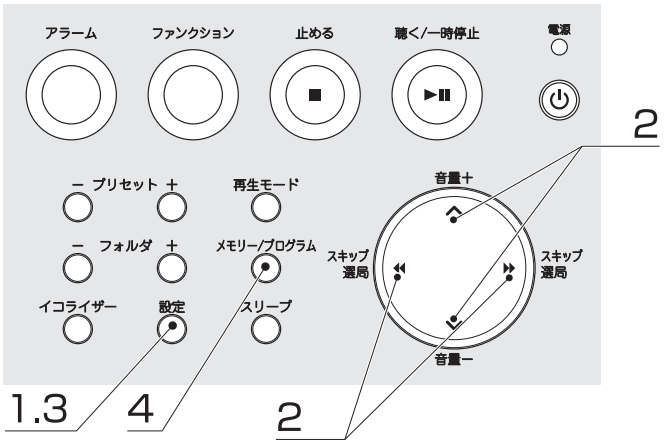
FM放送の場合
できるだけ高いところにアンテナを張ってください。

時計の合わせかた

- 電源切の状態で操作します。

1	「設定」ボタンをゆっくり3回押す。 • 現在時刻が点滅表示されます。 • **約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。**
2	「音量」ボタンで分を、 「スキップ/選局」ボタンで時を合わせる。
3	「設定」ボタンを1回押す。 「スキップ/選局」ボタンで24時間/12時間表示を選びます。
4	「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 時計合わせを終わります。

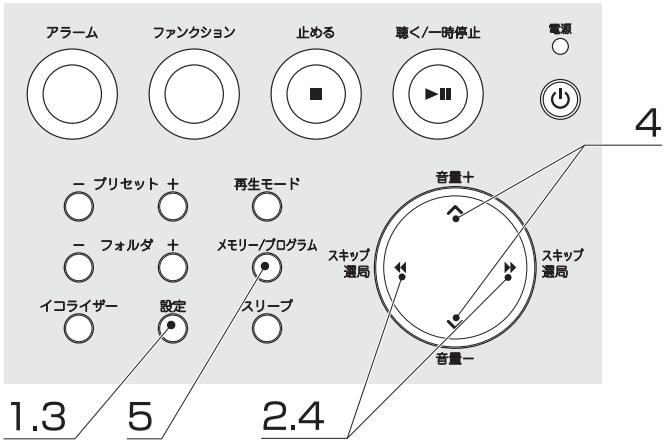
- ラジオ、CD、USB、SD、AUXモードで、「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを長押しすると押している間、時計が表示されます。



カレンダーの合わせかた

- 電源切の状態で操作します。

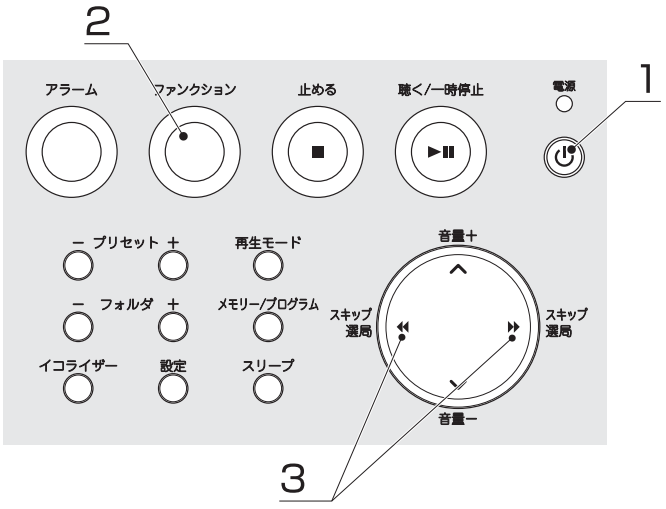
1	「設定」ボタンをゆっくり5回押す。 • 年数(西暦)が点滅表示されます。 • **約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。**
2	「スキップ/選局」ボタンで年数を合わせる。
3	「設定」ボタンを1回押す。
4	「音量」ボタンで日を、 「スキップ/選局」ボタンで月を合わせる。
5	「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 カレンダー合わせを終わります。



ラジオを聴くには

1	「電源」ボタンを押して電源を入れる。 電源ランプが点灯します。
2	「ファンクション」ボタンを押してAM、FMを選ぶ。 ディスプレイが周波数表示になります。
3	「スキップ/選局」ボタンで聴きたい局を選ぶ。 「スキップ/選局」ボタンを1～2秒押したままにするとオートチューニングになり受信できる局を探します。

- ラジオを止めるには「電源」ボタンを押して電源を切ってください。
- FM放送を受信時に「設定」ボタンを押すと、モノラルまたはステレオに切り換えることができます。



プリセットの使いかた

お好みの局をAM、FM、各10局まで記憶させておき、簡単に呼びだすことができます。

記憶させるとき

手動で設定する

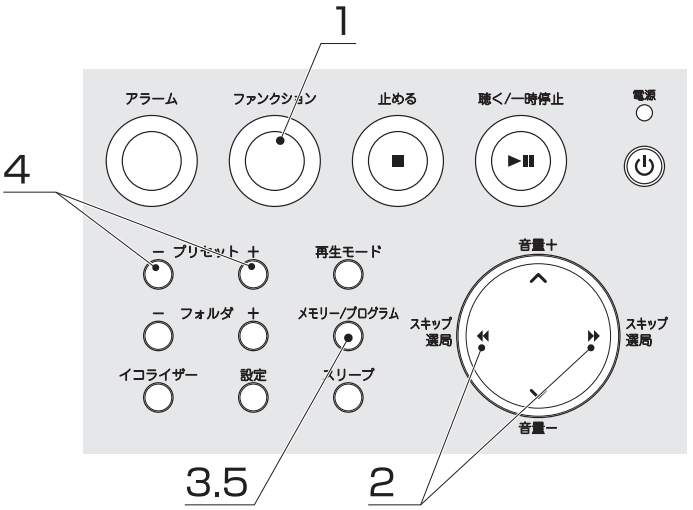
1	「ファンクション」ボタンを押して、AM、FMを選ぶ。
2	「スキップ/選局」ボタンで記憶させたい局を選ぶ。
3	「メモリー/プログラム」ボタンを押す。 • “MEM”とプリセット番号が点滅表示されます。 • **約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。**
4	「プリセット+、−」ボタンを押して記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
5	「メモリー/プログラム」ボタンを押して記憶させる。 新しい局を記憶させると、その番号に記憶されていた前の局は消えます。

自動で設定する

1	「ファンクション」ボタンを押して、AM、FMを選ぶ。
2	「メモリー/プログラム」ボタンを長押しする。 「メモリー/プログラム」ボタンを1～2秒押したままにすると、オートプリセットモードになり、自動的に受信できる局をプリセット番号に登録します。

記憶させた局を聴く

1	「ファンクション」ボタンを押して、AM、FMを選ぶ。
2	「プリセット+、−」ボタンを押し、聴きたいプリセット番号を選ぶ。



アメリカ・ヨーロッパで受信するには

本機は、日本／アメリカ／ヨーロッパでラジオを受信することができます。
出荷時は日本で受信できるよう設定されていますが、アメリカ、ヨーロッパでラジオを受信する時は以下の操作で受信エリア設定を切り換えてください。

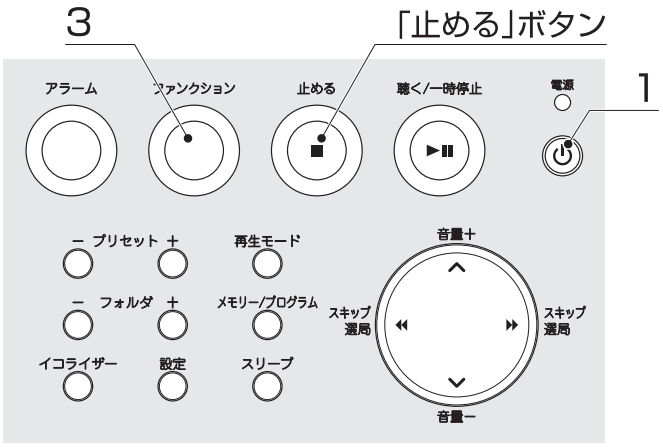
- ACアダプターは100V専用です。
  海外では、乾電池以外で使用しないでください。発火·事故の原因になります。

1	電源切の状態で「設定」ボタンをゆっくり7回押す。 **約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。**
2	「スキップ/選局」ボタンを押し、「JP」「USA」「EU」を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

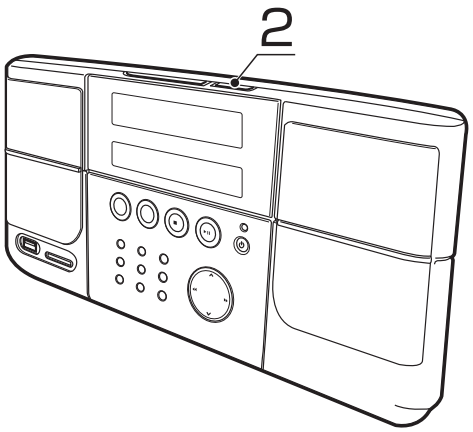
受信エリア設定を切り替えると記憶されたプリセットが消去されます。

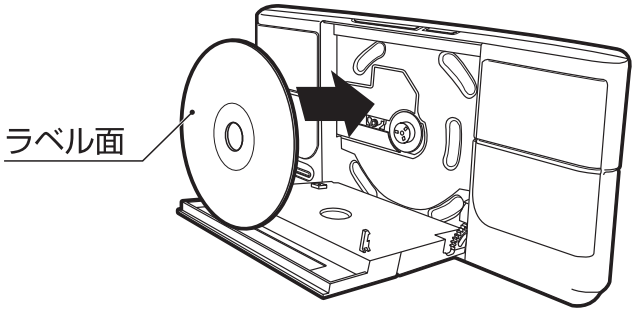
CDを聴くには

1	「電源」ボタンを押して電源を入れる。 電源ランプが点灯します。
2	「あける」ボタンを押しCDドアをあけ、CDをセットする。 • ラベル面を手前に向けて中心軸にカチッと入るようディスクの穴の近くを押します。 • CDドアをカチッと音がするまでしっかり閉めます。
3	「ファンクション」ボタンを押してディスプレイに“CD”を表示させる。 • 一曲目から演奏を始めます。



- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押します。曲番号が点滅し、もう一度押すと演奏に戻ります。
- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください
- 演奏停止後、無操作の状態で約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。





曲の頭を探す(スキップ)

- CD演奏中に「スキップ/選局(◀◀)(▶▶)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。

「スキップ/選局(◀◀)」
　演奏中の曲の頭に戻る。
　(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。)
「スキップ/選局(▶▶)」
　次の曲に進む。

- **演奏していない、または一時停止中に曲を探す。**
「スキップ/選局(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。

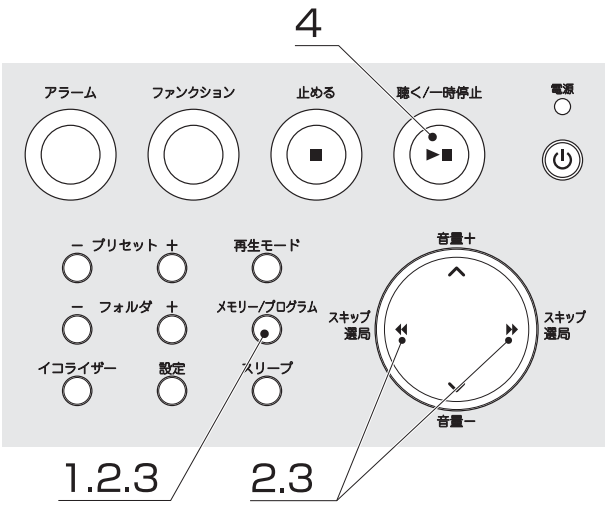
　1回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。
聴きたい曲の番号を選んだら、
「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押して演奏を始めます。

早送り・早戻しをするには

- 早送り
演奏中に「スキップ/選局(▶▶)」ボタンを押し続けると、その間早送りします。
- 早戻し
演奏中に「スキップ/選局(◀◀)」ボタンを押し続けると、その間早戻しします。
- ボタンから指を離すと通常の演奏に戻ります。

プログラム演奏

1	演奏停止状態で「メモリー/プログラム」ボタンを**1回**押す。 プログラム番号を表示後、"00"と"PGM"が点滅表示されます。
2	「スキップ/選局(◀◀)(▶▶)」ボタンでお好みの曲を選び「メモリー/プログラム」ボタンを押す。
3	上記を繰り返して順に曲を選ぶ。 20曲までプログラムできます。
4	「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押す。 プログラムした順に演奏します。



- 一度停止した後、同じプログラムで演奏するときは「メモリー/プログラム」ボタンを1回押して「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押します。
- プログラムを解除するにはCDドアを開けるか、電源を切ってください。

《ディスプレイ》

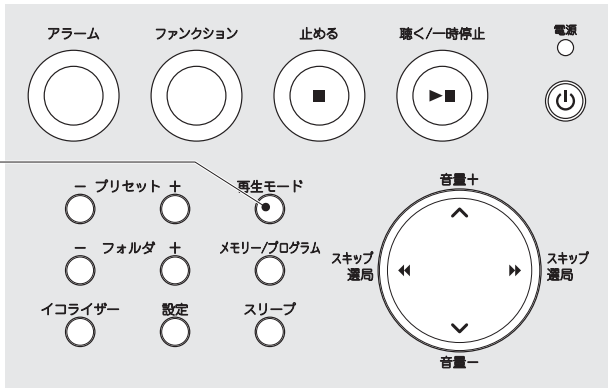
プログラム選曲中

リピート演奏

「再生モード」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。

1 1曲繰り返し → 2 全曲繰り返し → 3 通常演奏

押すたびに変わります



1曲繰り返し
お好みの1曲を繰り返し演奏します。

全曲繰り返し
全曲を繰り返し演奏します。

- CD演奏中でも操作できます。

《ディスプレイ》

1曲繰り返し

全曲繰り返し

ディスプレイの表示について

●ディスプレイに「 no 」と繰り返し表示される時は次の項目を確認してください。

①CDディスクが正しく入っていますか？
②CDディスクの裏表を間違えていませんか？
③レンズが汚れていませんか？→P.20参照
④CDディスクが汚れていませんか？

正常に作動しているときは……ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

MP3ファイルを再生するには

本機で使えるメディア

USB機器	• USB端子には、USBマスストレージクラス対応の機器を接続してください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
SDカード miniSD™カード microSD™カード	• 64MB～2GBのSDカードが使用できます。 • SDHC(4GB以上)は使えません。 • マルチメディアカード(MMC)は使えません。 • miniSD™カード、microSD™カードは専用アダプターが必要です。

SDロゴは商標です。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

microSD™はSDアソシエーションの商標です。

知っておいていただきたいこと

MP3ファイル

- 本機で再生できるのはMP3形式の音楽ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

USB機器

- 本機はUSB1.1対応です。
- 使用するUSB機器は、マスストレージクラスに対応している必要があります。それ以外のUSB機器を使用すると、曲ファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも種類や形状によっては正常に再生できない場合があります。
- USBマスストレージクラス対応かどうかは、USB機器メーカーにお問い合わせください。
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。

SDカード

- 本機はSD規格に準拠したSDカードに記録されたMP3オーディオファイルを再生することができます。
- 基本的に64MBから2GBまでのSDカードが使用できます。
- SDHC(4GB以上)は使用できません。
- ミニSDカードやマイクロSDカードはSD変換アダプターが必要です。
- SDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因になります。
- SDカード裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。
- 保管する際は必ずケースに収納し、極端に温度や湿度の高いところに置かないでください。

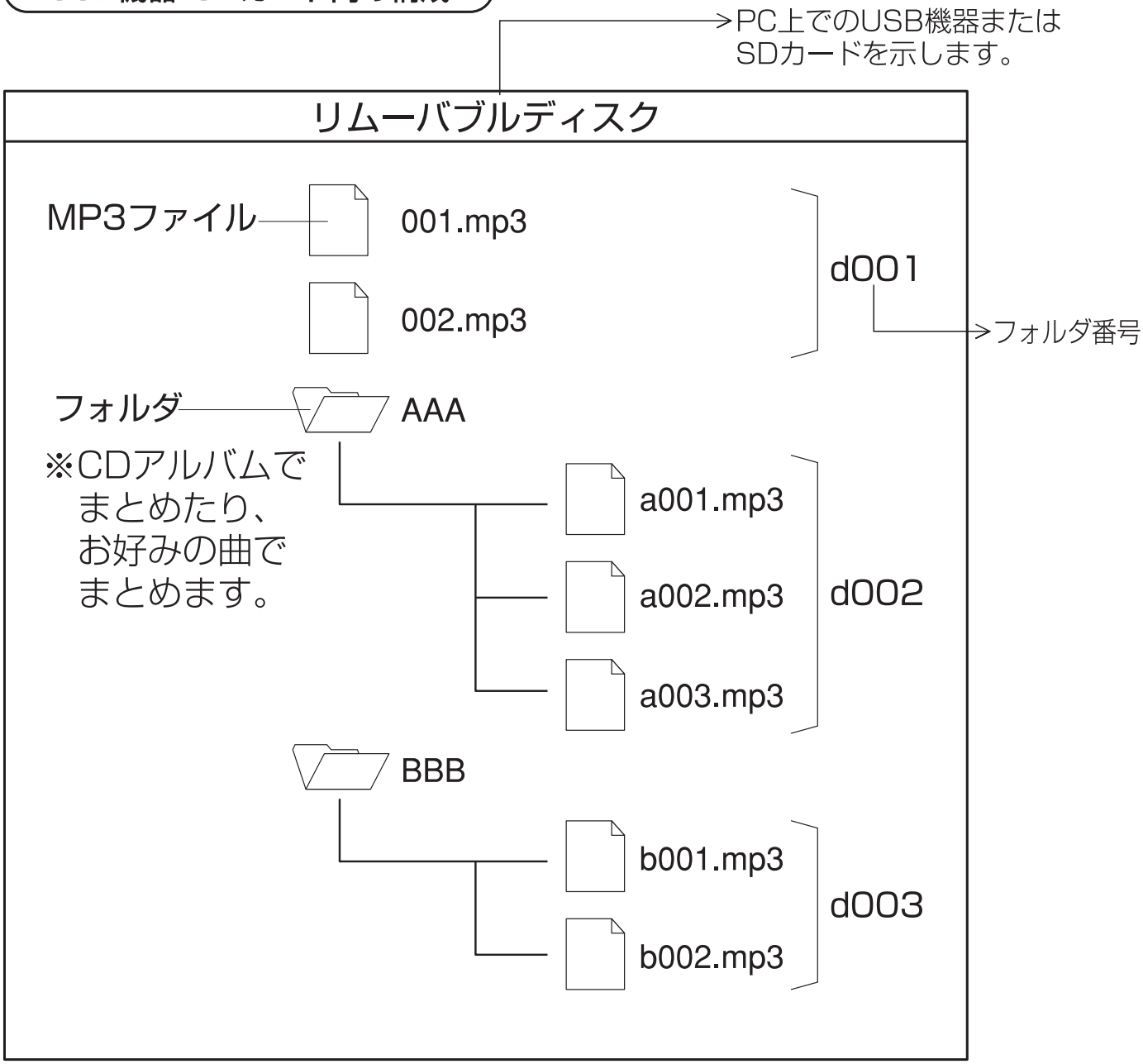
その他

- USB機器/SDカードはFAT16/32に対応しています。

再生の準備

下図を参照しお手持ちのPCで、USB機器またはSDカードにMP3ファイルを転送してください。

USB機器/SDカード内の構成

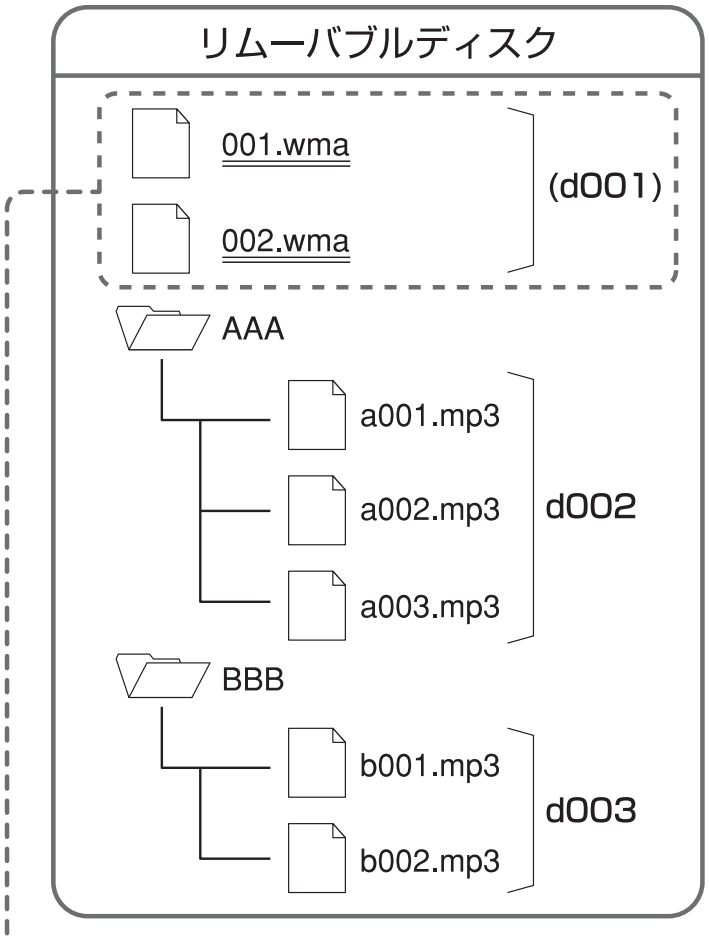


- 上図のファイル名/フォルダ名は、説明の為便宜上つけたものです。実際に転送するMP3ファイル名/フォルダ名を変更する必要はありません。
- リムーバブルディスク内にMP3ファイルを直接転送した場合、本機はUSB機器/SDカード自体をひとつのフォルダとして認識します。

フォルダの表示について

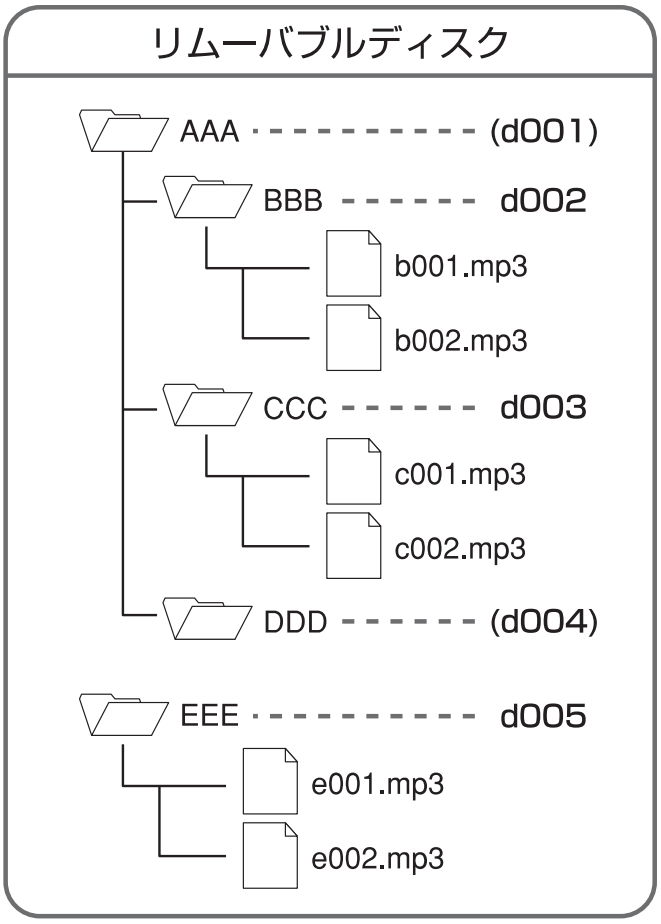
下図のような場合、フォルダ番号が本機のディスプレイには表示されません。
ファイル転送時にはご注意ください。

・MP3ファイル以外が記録されている場合



MP3ファイル以外が記録されている場合(図では wma ファイルが記録されています)、再生時に本機のディスプレイにはフォルダ番号「d001」は表示されません。

・フォルダの中にフォルダが作成されている場合



フォルダの中にフォルダのある「d001」は、この場合再生時に本機のディスプレイには表示されません。またファイルが記録されていない「d004」も同様に表示されません。

上図どちらの場合でも、再生時にはフォルダ番号「d002」から表示され、そのなかに記録されたMP3ファイルを再生します。

再生の順序

- P.13の図の場合、USB機器またはSDカードに記録されたMP3ファイルは下記の順番で再生されます。

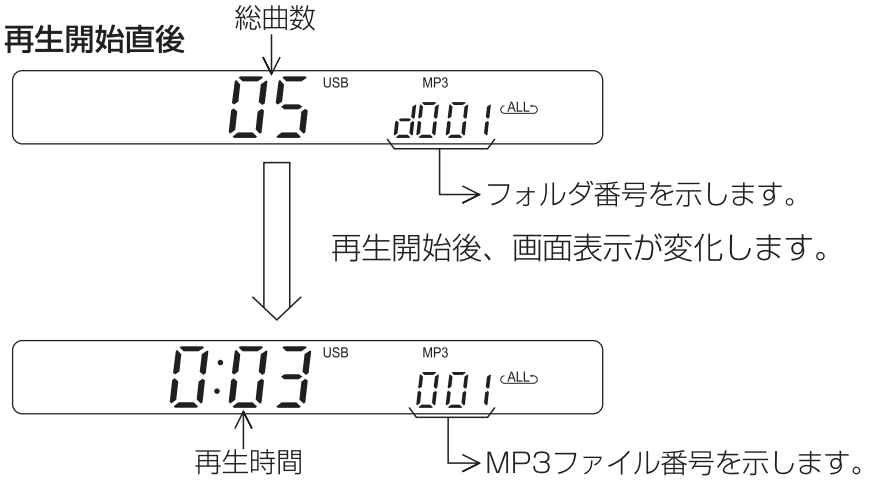
「d001」 の 「001.mp3」
「002.mp3」
「d002」 の 「a001.mp3」
「a002.mp3」
「a003.mp3」
「d003」 の 「b001.mp3」
「b002.mp3」

再生の順番

- MP3ファイル/フォルダは、下記の順番で認識され、再生します。

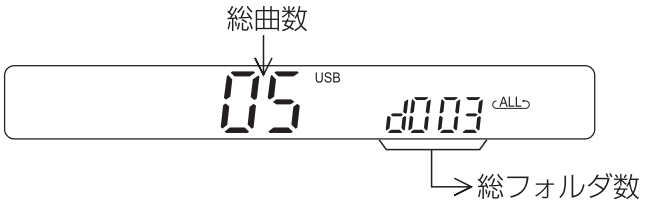
①	半角数字
②	半角アルファベット
③	ひらがな
④	全角カタカナ
⑤	漢字
⑥	全角数字
⑦	全角アルファベット
⑧	半角カタカナ

〈再生中の画面表示〉



※上記の場合、フォルダ「d001」のファイル「001.mp3」を再生していることを表しています。

〈再生停止中の画面表示〉

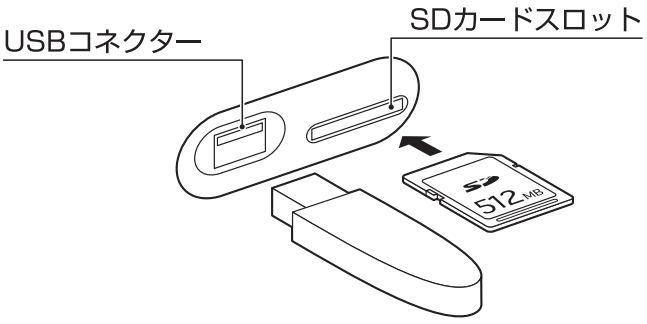


音楽データの再生

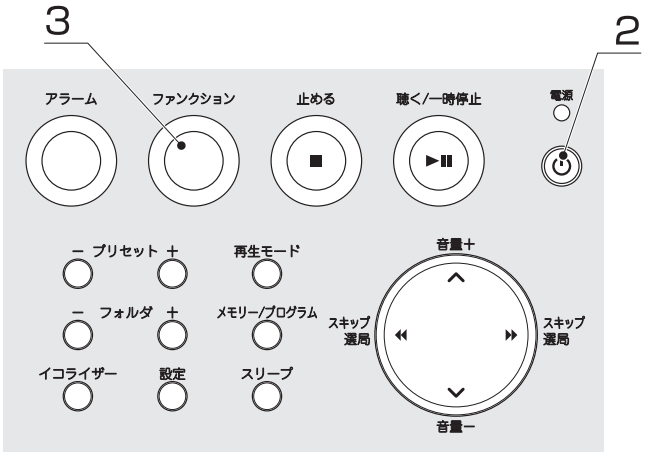
USB機器やSDカードに記憶したMP3ファイルを本機で再生することができます。

1	USB機器あるいはSDカードを本機に差し込む。
2	「電源」ボタンを押して電源を入れる。 電源ランプが点灯します。
3	「ファンクション」ボタンを押して、ディスプレイに“USB”または“SD”を表示させる。 ● 自動的に再生を始めます。 ● USBメモリ内の音楽データを再生する場合は“USB”を、SDカード内の音楽データを再生する場合は“SD”を選択します。

- 演奏を止めるには「止める(■)」ボタンを押します。
- 一時的に停止させたいときは「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押します。もう一度押すと演奏に戻ります。
- 聴き終わったら、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。
- 演奏停止後、無操作の状態で約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。



- SDカードは文字が書かれている面を上に向けて、SDカードスロットに差し込みます。



曲の頭を探す(スキップ)

- MP3ファイル再生中、または一時停止中に「スキップ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを押すと、前後の曲の頭出しができます。

  「スキップ/選局(◀◀)」
  　演奏中の曲の頭に戻る。
  　(2回目以降は押すたびに前の曲の頭に戻る。)
  「スキップ/選局(▶▶)」
  　次の曲に進む。

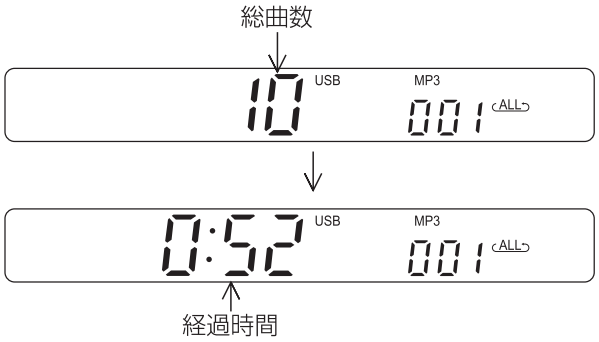
- 再生停止中に曲を探す。
  「スキップ/選局(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。

  １回押すごとにそれぞれ曲の頭に移動します。聴きたい曲の番号を選んだら、「聴く/一時停止(▶II)」ボタンを押して再生を始めます。

フォルダを選択する

- 「フォルダー、＋」ボタンを押すと、前後のフォルダに移動することができます。

《ディスプレイ》

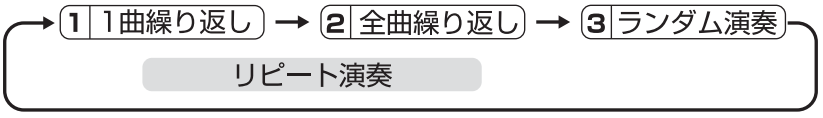


ご注意

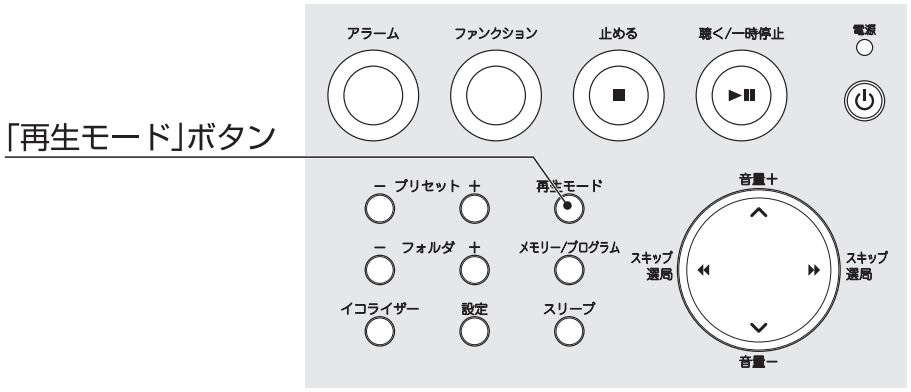
- USB機器やSDカードによっては、本機で正常に再生できない場合があります。
- 再生できるデータはMP3形式のみです。WMAやWAVなど、別のファイル形式には対応していません。
- 本機からUSB機器またはSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切ってからゆっくりと引き抜いてください。
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。

リピート/ランダム演奏

「再生モード」ボタンを押すごとに演奏機能が変わります。



押すたびに変わります



リピート演奏

《ディスプレイ》

1曲繰り返し

お好みの1曲を繰り返し演奏します。
ディスプレイに“↻”が表示されます。

1曲繰り返し

全曲繰り返し

全曲を繰り返し演奏します。
ディスプレイに“ALL”が表示されます。

全曲繰り返し

ランダム演奏

全曲を無作為に演奏します。
ディスプレイに“RND”が表示されます。

ランダム演奏中

- MP3ファイル再生中でも操作できます。
その場合、ランダム演奏については、
演奏中の曲が終了後、ランダム演奏に
変わります。

アラームの使いかた

設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。
音源は 電子音 CD ラジオ USB SD の5種類から選べます。
あらかじめ「時計の合わせかた」を参照して時計を合わせてください。・・・・(P.7)

アラーム時刻を合わせる

- 電源切の状態で操作します。

1	「設定」ボタンをゆっくり1回押してアラーム時刻を表示させる。 **約10秒以内に操作しないと元の状態に戻ります。**
2	「音量」ボタンで分を 「スキップ/選局」ボタンで時を動かし、アラーム時間を設定します。
3	**音源を選ぶ。** 「設定」ボタンを1回押し、次に「音量」ボタンで音源を選びます。 「音量」ボタンを押すと以下のように音源が切り替わります。 CD ↔ USB ↔ SD ↔ BUZ ↔ RAD **電子音を選ぶ** ∘ "BUZ" を表示させる。 **CDを聴く** あらかじめCDを本体にセットしてください。 ∘ "CD" を表示させる。 **ラジオを聴く** あらかじめ聴きたい局を選んでください。・・・(P.8参照) ∘ "RAD" を表示させる。 **USB内の音楽データを再生する** あらかじめUSBスロットに音楽データが書き込まれたUSBメモリーをセットしてください。 ∘ "USB" を表示させる。 **SDカードの音楽データを再生する** あらかじめSDカードスロットに音楽データが書き込まれたSDカードをセットしてください。 ∘ "SD" を表示させる。
4	「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

アラームを鳴らす

∘「アラーム」ボタンを押す。
ディスプレイに選んだ音源が表示され、設定した時刻に音源が鳴ります。

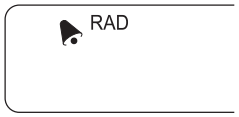
電子音の動作

∘ 最初に1分間鳴り続けた後オートスヌーズ機能が働き一時停止します。約9分間停止後、再び鳴り始めます。それを3回繰り返し4回目のアラーム後は翌日の同時刻まで停止します。

CD/ラジオ/USB/SDの動作

徐々に音が大きくなります。60分間動作した後、翌日の同時刻まで停止します。

《ラジオを音源に選んだ場合》



ご注意

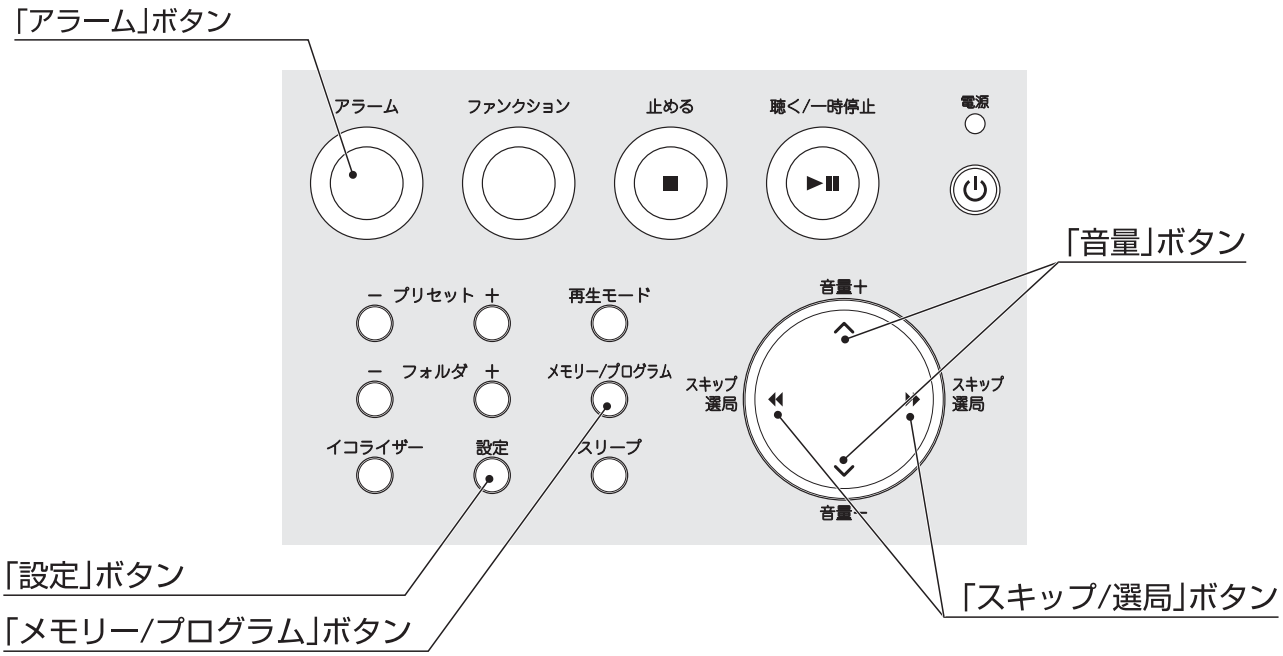
- アラーム音源にUSBまたはSDを選んでいるとき、アラーム時刻にUSBメモリーまたはSDカードが本体に差し込まれていなければ、自動的に音源が電子音に切り換わります。
- 本機で再生できるデータはMP3形式のみです。
- 本機からUSBメモリーまたはSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切ってからゆっくりと引き抜いてください。

鳴っているアラームを止めるには

アラームが鳴っているときに
「アラーム」ボタンを押す。翌日の同
時刻まで停止します。

アラームの解除

「アラーム」ボタンを押し、
ディスプレイから“ ”を消します。
解除すると設定した時刻になっても鳴りません。



スヌーズ機能

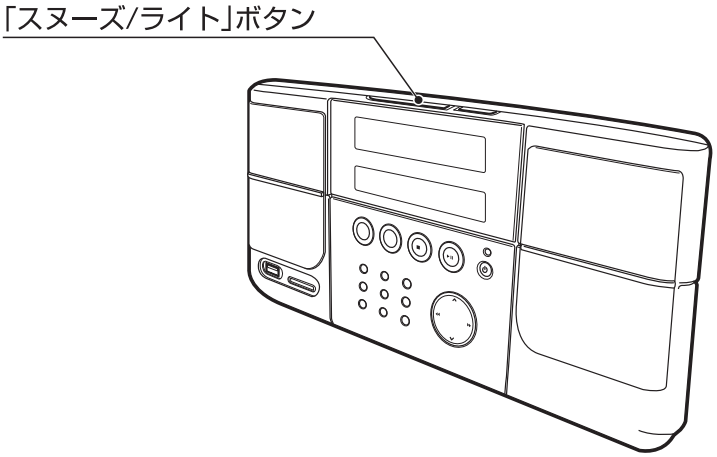
鳴っているアラームを一時的に停止させます。

電子音の場合

- 鳴り始めの1分間に
「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
ディスプレイに“SNOOZE”が表示され
一時的にアラームが停止します。
- 約9分間停止後、再び鳴り始めます。
それを3回繰り返し4回目のアラーム
後は翌日の同時刻まで停止します。

CD/ラジオ/USB/SDの場合

- 鳴り始めの2分間に
「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
ディスプレイに“SNOOZE”が表示され
一時的にアラームが停止します。
- 約9分間停止後、再び鳴り始めます。
それを3回繰り返し4回目のアラーム
後は翌日の同時刻まで停止します。

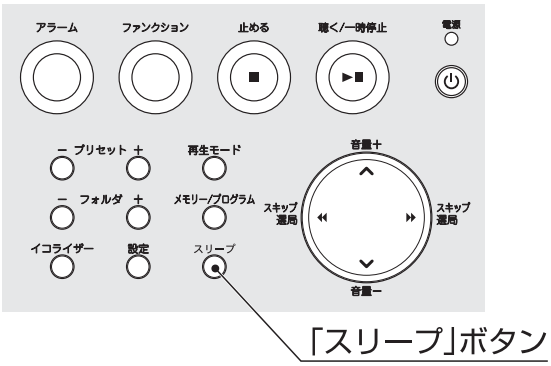


スリープ機能

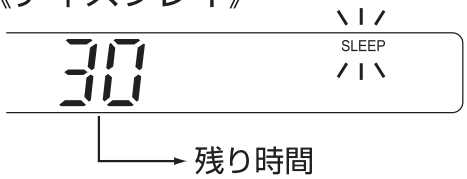
指定した時間が経つと自動的に電源が切れます。
CD、ラジオ、USB、SDを聴きながら「スリープ」ボタンを押す。
15→30→45→60→「スリープ解除」
↑ 押すたびに変わります

- ディスプレイに“SLEEP”が表示されます。

CD、USB、SDの場合
スリープ設定時間よりCD、USB、SDの演奏時間が短い場合、CD、USB、SDの演奏が終わったら約30秒後に電源が切れます。



《ディスプレイ》



残り時間を確かめるには

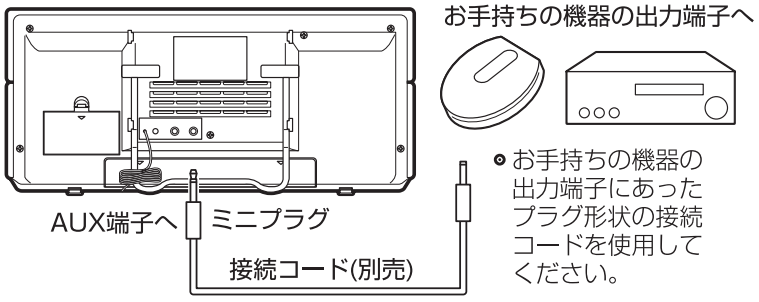
「スリープ」ボタンを1回押します。
残り時間が表示されます。

他の機器とのつなぎかた

お手持ちの音響機器とつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

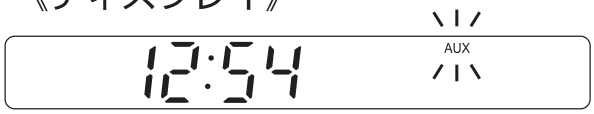
1	本体背面のAUX端子とお手持ちの機器の出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。
2	本機の「電源」ボタンを押して電源を入れる。 電源ランプが点灯します。
3	「ファンクション」ボタンを押す。 ディスプレイに“AUX”が表示されます。
4	お手持ちの機器の演奏をはじめる。

- お手持ちのオーディオ機器の出力が小さく、音がうまくきこえない場合があります。その時はそれぞれの音量で調節してください。



- お手持ちの機器の出力端子にあったプラグ形状の接続コードを使用してください。

《ディスプレイ》



ディスプレイバックライトについて

本機を乾電池でご使用になられる場合は、乾電池の消耗を防ぐためにボタン操作後、約10秒後に自動的にバックライトが消灯します。「スヌーズ/ライト」ボタンを押すことで、一時的にバックライトが点灯します。
付属のACアダプターでご使用の場合は、「スヌーズ/ライト」ボタンで常時点灯/消灯を選ぶことができます。

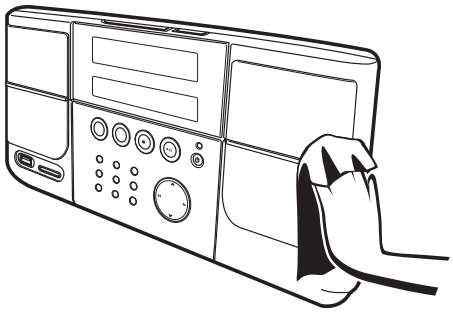
お手入れのしかた

本体のお手入れ

乾いた布でふいてください。
ひどいときは、水で布をしめらすか、薄めた中性洗剤を少し布につけ、よくしぼってふき、あとはからぶきをしてください。

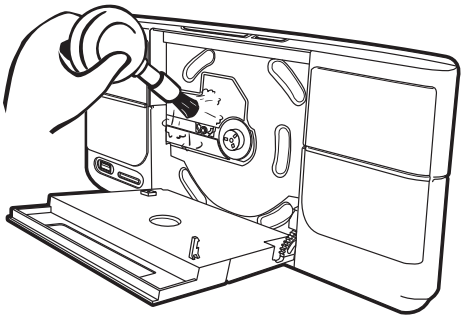
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどではふかないでください。
本体をいためる原因となります。



レンズのクリーニング

ごみやほこりがついた場合
市販のブロアーでレンズを2～3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみをはき出します。最後にもう一度、ブロアーでレンズを吹いてください。
※レンズ部には指紋や汚れをつけないようご注意ください。



仕様

受信周波数	FM：76～108MHz AM：522～1629kHz	電源	2電源方式 ◦ AC100V　50/60Hz （付属ACアダプター使用時） ◦ 電池 単3形乾電池×6本（別売）
アンテナ	FM：ワイヤーアンテナ AM：フェライトバーアンテナ内蔵		
スピーカー	7.7cm（4Ω）×2個	電池持続時間 （アルカリ乾電池使用時）	ラジオ受信時（JEITA） 約8時間 CD再生時（JEITA） 約3.5時間 MP3ファイル再生時 約8時間（※）
入力端子	AUX端子×1		
出力端子	ヘッドホンジャック×1		
実用最大出力	2.2W＋2.2W（JEITA）	消費電力	13W
付属品	ACアダプター(型番:SAD-9001)×1 取扱説明書×1 保証書×1	最大外形寸法	約326(幅)×53(奥行)×142(高さ)mm
		質量	約1.2Kg（乾電池含まず）

※　SDカードに書き込んだMP3ファイルを再生して測定

●ACアダプター　SAD-9001仕様

入　力	AC100V 50/60Hz 18VA	コード長	約1.9m
出　力	DC9V　1000mA	プラグ形状	⌀3.5mm ⊖—◐—⊕

●本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

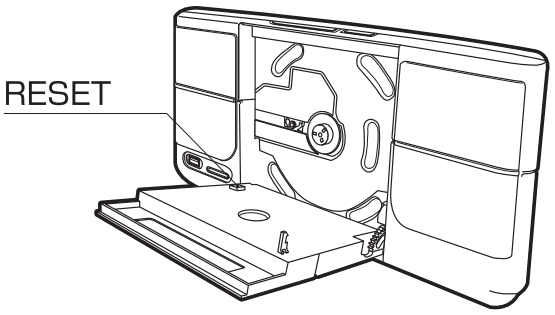
故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

	症　状	チェックポイント	処置のしかた
共通部	操作キーを押しても動作しない	乾電池は正しい方向で入っていますか。	乾電池の＋－を確かめてください。
		ACアダプターがはずれていませんか。	正しく接続してください。
CD部	CDの演奏が始まらない。 CDが入ってるのに「no」と表示する	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を新しいものととりかえてください。
		CDディスクの表裏を間違えていませんか。	文字のある面を上にしてください。
		レンズが汚れていませんか。	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。（P.16参照）
		レンズに霧や水滴がついていませんか。	CDを取り出してCDぶたを開け、1時間程置いてください。
		CDディスクが汚れていませんか。	汚れを落としてください。
		CD-R、CD-RWディスクが入っていませんか？	CD-R、CD-RWディスクによっては正常に使用できない場合があります。
	CDの音が飛ぶ	強い振動を与えていませんか。	振動を与えないでください。
		ディスクがひどく汚れていませんか。	汚れを落としてください。
		ディスクに大きな傷はありませんか。	ディスクを変えて試してください。
		乾電池が古くなっていませんか。	新しい乾電池をお使いください。
USB・SD部	データを再生できない	MP3形式以外のファイルを挿入していませんか。	本機で再生できるデータ形式はMP3のみです。WMAやWAVは再生できません。MP3形式のファイルを挿入してください。

RESETスイッチ

使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は「RESET」スイッチを押してください。

- 先の細いもので押してください。
- 「RESET」スイッチを押すと出荷時の初期状態になります。時刻設定、アラーム設定等はすべて消去されます。



アフターサービスについて

1. 保証書

● 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか	ご使用中止
●電源コードやACアダプターが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。
尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社　本　社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3丁目3番7号

ナビダイヤル（全国共通番号）　TEL. 0570(07)5555
TEL.06(6262)3561
FAX.06(6264)5170

電話受付時間　平日9:00～17:30(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2008年6月現在（所在地、電話番号などについては、変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

★★★8L